

「美濃加茂市都市計画マスタープラン改定（案）」及び
「立地適正化計画（案）」に関するパブリックコメント（意見募集）結果

1 目的

人口減少社会の到来を踏まえ20年後の将来像を見通したまちづくりの基本的な整備方針となる「都市計画マスタープラン」の改定とコンパクト＋ネットワークの考え方によるまちづくりを目指す「立地適正化計画」の原案に関して、市民の皆様のご意見を募集しました。

2 実施期間

令和元年12月6日（金）～ 同月24日（火）

3 周知方法

- （1）広報みのかも（12月1日号）に「美濃加茂市都市計画マスタープラン改定（案）および立地適正化計画（案）についてご意見を募集します」と題して、パブリックコメントの実施について掲載
- （2）美濃加茂市ホームページのトップに「美濃加茂市都市計画マスタープラン改定（案）および立地適正化計画（案）に関するパブリックコメント（意見募集）の実施について」と題して、パブリックコメントの実施について掲載
- （3）美濃加茂市建設水道部都市計画課にて「美濃加茂市都市計画マスタープラン改定（案）および立地適正化計画（案）」の閲覧を実施

4 意見の提出結果

＊意見提出者数 4人

＊意見提出件数 6件（メール2件・紙文書4件）

5 提出されたご意見と市の考え方

意見内容（１）	都市計画マスタープラン、特に蜂屋地区についての意見です。私は数年前、サンフランシスコを訪れる機会がありました。サンフランシスコといっても用事があったのは都市部から北に車で 1 時間ほど行ったところにある小さな街です。初めてその街に入った時、私は生まれた場所である蜂屋を思い出しました。小さな小学校を中心に、小さな商店街、小さなスーパーマーケット、美しい川、樹々に囲まれた住宅地、その裏山には牛や馬羊などが放牧され、だれでも散歩できるよう控えめな遊歩道がありました。私からすると何の変哲もないのですが、でもどこか懐かしいようなとても安心できる街でした。ところがあとで分かったことですが、その街は今とても人気が高く、サンフランシスコ市街地のど真ん中より地価が高いのだそうです。それだけアメリカの人々は、美しい景色と治安に対価を払っているのです。 美濃加茂市にもそんな街になれる可能性が大いにあります。工業団地を誘致するより、ここに住みたい！と思われるような美しい自然の残る街を目指すべきなのではないでしょうか？特に蜂屋ならば、大金を投ぜずとも元々持っている地形や気候、生態系を活かすことで、それほど難しくなく可能になるよう感じます。目先の税収より、子供や孫の世代が誇れるような美しい自然とともに暮らせる街を作る(残す)ことの方が、50 年後、100 年後は必ず評価される事だと思いますがいかがでしょうか。
ご意見に対する市の考え方	里山・里川の保全や自然環境の保全と産業開発との関係につきましては、市役所内部や美濃加茂市都市計画審議会において議論されました。これから到来する人口減少社会や少子高齢社会において、都市計画マスタープランの目標案に「ファミリーや女性に選ばれるまち」、「働く場が確保されたまち」を掲げております。生活利便施設の誘導や居住と雇用環境の整備について、自然環境を守りつつ適切なバランス感覚をもって政策を進めていくことで、市民生活の安定につながり、結果として「ファミリーや女性に選ばれるまち」であり続けられると考えております。 インターチェンジ周辺地区などは、産業拠点区域の候補としていますが、東海環状自動車道は、西回り区間が2024年度までに完成し、東回り区間も近い将来4車線化が実現する見通しが国から公表されました。先端技術産業や研究開発機関などの若者の就労の場となり得る、優良企業の進出意欲が高い区域となっております。 自然環境の保全と産業開発については、どちらかに極端に偏った政策は適当ではないと考えます。働く場が近くにあり、通勤に長時間をとられてしまうことがなく、教育や子育て環境や商業施設が整備されているまち、通勤・通学、通院や買い物などに公共交通が利用できるような便利で快適なまち、職住近接のまちづく

	りの実現を目指すとともに、山之上地域を中心に里山保全に取り組んでいく計画案にしております。ご理解をお願い申し上げます。
意見内容（２）	加茂野地域のまちづくり施策について、加茂野地域は、人口が増加し農地が宅地に転用されスプロール化が進んでいます。このたびの市の計画では、一定規模以上の土地の開発については、届出制などの施策が講じられていることは評価しますが、十分とは言えません。このため、近時の高降雨量による災害対策、道路等の公共施設整備、秩序ある土地利用計画等いくつかの抜本的な街づくり施策を要望します。
ご意見に対する市の考え方	加茂野地域は、市内で唯一の人口増加傾向が２０３０年まで継続する予測となっている地域であり、依然として住宅などの開発傾向が高い地域となります。このため、「ファミリー層や女性に選ばれるまち」の目標を実現するため、この地域の整備方針では「地域生活拠点」に位置づけました。 ご要望にあります道路等公共施設の整備は、市開発事業条例の適正な運用により公共施設等を適正配置していきます。また秩序ある土地利用に関しては、市農林課や農業委員会と連携しながら、市道若宮加茂野線の北西地区の優良農地のスプロール化を抑制していくとともに、「地域生活拠点」エリアに適正な宅地開発を誘導していきます。地域住民の皆さまと勉強会や意見交換を行い、良好な住環境を維持していくため都市計画法に基づく地区計画や特定用途制限地域の指定などの施策を検討していきます。
意見内容（３）	都市計画説明会で参加者が少なかったので市長さんに提案したいと思います。少子高齢化社会に向けて、立地適正化計画や都市計画マスタープランは時代の流れであり、概ね理解しますが、人が生活するための原点は海であり、山であり、川、里山、農村文化です。人間の健康の源です。海が汚れたり、山が荒れたり、川の汚れ水の確保が里山、農村、漁村文化がなくなると人間の健康、心の健康が薄れると思います。行政の力だけでは、海、山、川、里山は守れません。そこに人が住んでからこそ守れると思います。安全、安心な町、災害による被害を最小限に抑える為には、自助、共助、公助です。特に小さな自治体（部落）の助け合いです。

ご意見に対する 市の考え方	都市計画マスタープランの改定(案)では、市民協働の視点で地域別構想編を記述しております。自然環境保全、防災減災、地域再生などの分野において、自助・互助・共助・公助の視点や事業者や市民団体との協働によるまちづくりの視点から記述しております。 行政だけでできることは限られています。市民、団体、事業者の皆さまと力を合わせて、自然環境を守り、人口減少社会の到来に適切に対応できる持続可能なまちづくりを進めてまいりたいと考えております。
意見内容（４）	都市計画マスタープラン概要版の９ページにある加茂野地域の方針図「農地保全エリアと住宅地エリアの区分の検討」について、宅地化が進む人口増加地区でだけに、２０４０年までの改定計画案として「・・・区分の検討」では進捗が遅くありませんか。「検討」より実施に向けて積極的な語句に表現できませんか。なお、「区分」とは、法令の規制を伴う土地利用までを想定した区分の計画案と理解してよろしいか。
ご意見に対する 市の考え方	「区分の検討」という表現にした理由は、都市計画法の規制を伴う土地利用までを想定したものだからです。都市計画法第１２条の４第１項第１号に定められている地区計画制度の導入や同法第８条で定められている特定用途制限地域の導入を地域住民の皆さまと意見交換し、検討した上で土地利用を区分していく考え方です。 したがって、現時点では地域の皆さまの意向が把握できておりませんので、「・・・区分の検討」という表現の案とさせていただきました。
意見内容（５）	都市計画マスタープラン概要版の９ページにある加茂野地域の地域づくりの方針「地域住民主体のまちづくり活動の推進」について、今後も人口増加と新築物件の増加が予想される高齢化率の低い活気ある地区だけに、まちづくり活動は期待されます。しかし、人口１万人を超える加茂野地区では、住民それぞれ考え方には相違があり、まちづくりを地域住民主体となって進めることは困難なことも多いので行政の支援がどうしても必要です。 よって、当該箇所は、「地域住民と行政との協働によるまちづくり活動の推進」にしていだけませんか。

ご意見に対する 市の考え方	地域住民主体でのまちづくり活動の推進は困難なことも多いか と思います。概要版の９ページおよび本編７８ページの「地域づ くり方針」の考え方は、「市民が主体となったまちづくり活動」で すので、これらの「活動」に対して行政主体の取組として、「まち づくりに関する意識啓発の場や機会の提供を行います。」と記述さ せていただきました。住民主体となった自治会やまちづくり協議 会の活動に対する支援に力を入れていきますので、ご理解いただ きますようお願いします。
意見内容（６）	都市計画マスタープラン概要版９ページにある加茂野地域の地 域づくり方針図「治水対策の推進」について、前項の雨水渠の整 備促進は理解できます。治水対策は、「推進」と記載があったの で、すでに整備計画が出来ているのですか。何を推進しますか。 蜂屋川の下流に隣接する加茂野町市橋地区は、各地区の雨水が 蜂屋川に向けて集中してくる地区です。住民の要望もありますの で、同地区の治水対策強化をお願いします。
ご意見に対する 市の考え方	加茂野地域における治水対策の推進の具体の施策は、次の施策 の推進を考えております。 ①ため池を有効活用した治水能力の向上 ②雨水渠へ流入する排水路等の整備 加茂野地域は多くのため池があり、これらの機能向上と農業排 水路等の整備を進めていくことにより、集中豪雨における浸水被 害を防ぐ治水対策を推進していきたいと考えております。